

1. 新聞図書関係

(1) 定期購読紙誌

- ① 日本経済新聞(日経) ② しんぶん赤旗(赤旗)
- ③ 東京新聞(東京) ④ 物流ニッポン(物流)

(2) 業界関係

- ① 日本海事新聞(海事)
- ② マリタイムデーリーニュース(MD)
- ③ シッピングガイド(SG)

2. 関係組合機関誌等

◆「全国港湾」第 390 号 9 月 15 日 発行：全国港湾労働組合連合会

特集：産別労使関係を再構築し諸課題の前進を目指す！第 18 回定期大会

▶第 18 回定期大会は 9 月 17～18 日に豊橋市(シーパレス)において、議長団に畑崎代議員(検数労連)、梅尾代議員(大港労組)を選出。第一号議案・24 年度取り組み経過、第二号議案・25 年度活動方針、第三号議案・産別スト権の確立、第四号議案・規約改正、第五号議案・決算予算、及び中央執行委員の選出、大会宣言、特別決議 3 件を採択して終了した。▶大会代議員の発言 ▶委員長総括答弁 ▶リレー随想/大黒の中心で魚を釣る
▶「港湾を兵站基地にするな」「港湾労働者と戦争を考える」

◆「検数労連」第 813 号 発行：全国検数労働組合連合会
全国検数労働組合連合 第 57 回定期大会開催！ 日常活動の実践力を総結集/職場とともに未来に向かって継承・挑戦 ▶9 月 11～12 日に横浜「波止場会館」で開催した。
▶24 年度活動と総括 ▶25 年度運動方針 ▶光部中央書記長長い間ご苦労様でした。

◆「全倉運」第 1542 号 9 月 25 日 発行：全日本倉庫運輸労働組合同盟
▶2026 年度運動方針など採択/全倉運第 80 回定期大会を開催/新年度に向けて議案を採択 川本愛樹(三菱倉庫)委員長を選出 ▶全倉運活動功労者を表彰/東洋埠頭青果センター労組委員長・尾崎哲生さん ▶祝電・メッセージの紹介 ▶玉田書記長挨拶

◆「日通労働」Vol. 3005 2025 September 発行：全日通労働組合
特集Ⅰ：金月中央執行委員長インタビュー

7 月の第 80 回定期全国大会で新たに就任した金月中央執行委員長

特集Ⅱ：新中央本部役員紹介/長野県支部と愛知県支部出身の新中央本部役員

特集Ⅲ：第 68 回青年部 部報コンクール/上位入賞の支部に学び部報の発行を

◆「海員」2025 年 9 月 1 日 通巻 914 号 発行：全日本海員組合 本部
特集：漁船員の後継者確保・育成

海員トピックス：▶令和 7 年度 戦没船員慰霊式典 ▶沖縄「対馬丸記念館」を表敬訪問
連載ほか：▶本船の若い人 ▶組合本部活動 ▶組合活動レポート ▶第 80 年度新任執行委員研修会 ▶本船自慢の司厨長 ▶組合レポート 他

◆「船員しんぶん」 発行：全日本海員組合

◎第 3095 号(25 年 9 月 5 日) ▶100 人の小学生が「一日海員学校」を体験/フェリーに乗船、愛県・八幡浜港～大分県・別府港を往復 ▶海運・船員政策の申入れ ▶横浜港 166 周年港まつり優良海事関係者表彰 ▶国民の「祝日」全国各地で海事関係者が表彰 ▶第 109 次 FOC・POC キャンペーン

◎第 3096 号(25 年 9 月 15 日) ▶中野洋昌国土交通大臣が関西地方支部に来組/海運政策について意見を交わす/海運業界の喫緊の課題、船員後継者の確保・育成 ▶秋の味覚サシマの大漁目指し、気仙沼港/大船渡港/花咲港/小名浜港から出漁 ▶外国人漁業技能実習生・以東機船底引網五千出港式/労働関係法令講習会 ▶海の日イベント、船上で子どもたちにロープワーク教室 ▶船員職業ガイダンス/水産・海洋系高等学校で開催

◆「フェニックス」 第 419 号 2025 年 9 月 1 日 発行：航空労組連絡会
▶第 1 四半期 好業績の航空大手 2 社/好調な国際旅客需要/お盆期間前年上回る/中間決算も高い収益か ▶現場に過重な負担/後を絶たない不安全事故 ▶最低賃金の目安 全国平均 1,18 円に/63 円引き上げ全都道府県 1,000 円超す/JGS の成田・羽田 1,600 円
▶羽田空港/制限区域内の事故 8 月はハイペース

3. 雑誌、機関誌等(謹呈・贈呈含む)

◆「港湾」Vol. 102 September 2025 9 月号 発行：公益法人 日本港湾協会
▶巻頭言：持続可能なクルーズデスティネーションの構築に向けて・赤井伸郎
特集：海洋開発最前線 ▶港湾における海洋利用の取組み・川俣 満 ▶我が国の海洋政策「海洋基本計画」及び「海洋開発等重点戦略」について・妹尾仁志
資源開発の取組み：▶海洋安全保障プラットフォームの構築・石井正一 ▶南鳥島 EEZ における国産海底レアメタル資源開発に向けて・中村謙太郎 ▶JOGMEC 調査船「たんさ」及び「白嶺」のご紹介・佐藤大地・山本耕史次
EEZ への洋上風力発電の展開：耕地的経済水域における洋上風力発電施設の設置許可制度について・片岡弘貴 ▶浮体式洋上風力発電の海上施行を巡る取組み・井ノ口大地
洋上開発の未来：再生可能エネルギーを 100%活用する洋上データセンター実現に向けた実証実験について・萩原浩二 ▶北極地域研究「みらいⅡ」の建造・赤嶺英介 ▶世界初となる海洋温度差発電の商用化と海洋深層水の利活用を目指して・松岡哲史・大竹明
▶世界最大規模の海洋開発技術会議、展示会(OTC2025)・野本圭介 ▶海洋開発技術者の人材育成・池田大誠

◆「港湾防災」 第 729 号 9 月 10 日 発行：港湾貨物運送事業労働災害防止協会
▶令和 7 年緑十字賞を受賞 ▶港湾労働衛生強調月間実施要領 ▶「全国労働衛生週間」を 10 月に実施(概要) ▶主要港督励巡視実施される ▶わが社の安全衛生活動・(株)新栄組
▶永年勤続職員表彰受賞者 ▶安全管理士(員)活動報告 ▶本部・総支部・支部の各種行事日程のお知らせ ▶月別死亡災害発生件数の推移(協会会員事業場報告分)

◆「学習の友」 9 月号 2025. 9. 1 NO. 865 発行：労働者学習協会
特集：人口減少社会 労働運動はどう向き合うか ▶「人口減少」社会にどのように立ち向かうべきか・岡田知弘 ▶食料自給率を向上させる農業政策への転換を・田代洋一
▶病院つぶし(統廃合)をおしかえす！・宮城県医労連 ▶加速する人口減。だからこそ地

域に入り、住民との対話を・長野県厚生労連労組策病院支部 ▶「賃金の下限を守らせる」地域からの横断的規制・神奈川土建 ▶参院選の結果をどう見るか—自民党政治は撃破された・五十嵐仁 ▶「被爆 80 年企画展 ヒロシマ 1945」を見て・志磨 斗美恵

◆「学習の友」別冊 2025 9 月 1 日

発行：労働者学習協会

「働くルール」の破壊に抗し、働き甲斐ある職場をつくる

▶「新時代の〈日本的経営〉」から 30 年・赤堀正成 ▶「労使自治」論による労働法解体の危機—労働基準法見直しの動向・伊藤圭一 ▶「企業と人権」が企業を変える・小栗崇資 ▶労働法とはどういうものか・今野順夫 ▶「名前を呼ばれない働き方」—スキマバイトの一断面・藤田和恵 ▶「定額働かせ放題」の職場はどうなっているのか？・山本乃里子 ▶コロナ禍の労働相談からストライキでたたかう労働運動へ—非正規春闘の結成から現在まで・尾林哲也

◆「羅針盤」第 46 号 2025. 9. 10

発行：羅針盤を発行する会

▶内航おしゃべり広場 ▶各国で深刻化する船員不足(日本、韓国、アメリカ)・編集部 ▶馬毛島基地建設で揺れる種子島・大内要三 ▶洋上風力発電 カボタージュ規制に風穴・竹中正陽 ▶解雇を撤回させ自由にものが言える職場に・古川卓治 ▶外航暮らしから次は内航船員へ・柿山晶 ▶知床遊覧船沈没事故、行政責任 7 民事裁判と刑事裁判の現状・高橋二郎 ▶国交省資料「内航海運業者と連携強化のためのガイドライン」・編集部

◆「大原社会問題研究所雑誌」 NO. 803・804 2025. 9. 10

発行：法政大学大原社会問題研究所

特集：社会問題としての気候変動 特集にあたって 鈴木 玲

▶エコロジック近代化の展開と課題—日本のグリーン成長戦略と GX2040 ビジョンの批判的検討を通じて・加藤里紗 ▶気候変動と地域経済社会—地域の中の企業の応答から解読する「地域脱炭素」のリアル・茅野恒秀 ▶洋上風力発電開発における漁業共生フレーム・地域貢献フレームと地域社会の応答・西城戸誠 ▶ブラジルにおける気候危機と環境運動—運動の知はいかに引き継がれたのか・舩方周一郎 論文：生活保護制度における「第二次適正化」政策と地方自治体—佐賀県を事例に・平將志 講演：「二村一夫著作集」をめぐって/二村先生の学問と私・アンドルー ゴードン ▶トマス C. スミス労働史と二村労働史・再論・大島真理夫 ▶リプライ・二村一夫

◆全労済協会ファクトブック 2025 年版

発行：全労済協会

I. ごあいさつ・神津里季生 II. 事業報告 ①シンクタンク事業「公益目的支出計画における実施事業」 ②相互扶助事業「認可特定保険業」 ③法人運営 III. リスク管理と法令遵守の取組み ①リスク管理 ②コンプライアンス並びに個人情報保護の取組み IV. 組織の概要 ①全労済協会の組織変更 ②全労済協会の沿革 ③役員等の体制

◆毎月勤労統計調査月報—全国調査—NO. 916 (25 年 9 月 5 日到着分)

2025 年(令和 7 年)5 月分結果の概況

1. 賃金

25 年 5 月の現金給与総額は規模 5 人以上で 301,592 円、前年同月比 1.4%増(規模 30 人以上では 337,884 円、前年同月比 1.2%増)となった。

現金給与総額のうち、きまって支給する給与は287,118円、前年同月比2.0%増(規模30人以上では前年同月比2.0%増)となった。また、所定内給与は267,678円、前年同月比2.0%増(同2.1%増)で、所定外給与(超過労働給与)は、19,440円、1.4%増(同1.2%増)、特別に支払われた給与は14,474円、6.6%減(同13.1%減)となった。

実質賃金(総額)は、規模5人以上で前年同月比2.6%減(規模30人以上では2.8%減)となった。

2. 労働時間

25年5月の総労働時間は規模5人以上で134.5時間、前年同月比1.7%減(30人以上では140.5時間、前年同月比2.2%減)となった。

総実労働時間のうち所定内労働時間は124.8時間、同年同月比1.8%減(規模30人減以上では前年同月2.2%減)、所定外労働時間は9.7時間、1.0%減(同1.8%減)となった。

3. 常用雇用

25年5月の常用雇用は、規模5人以上で前年同月比1.7%増(30人以上では前年同月比1.1%増)、就業形態別にみると、一般労働者は1.1%増(同0.5%増)、パートタイム労働者は2.8%増(同2.9%増)となった。

主な産業にみると、製造業は規模5人以上で前年同月比0.1%増(規模30人以上では前年同月比と同水準)、卸売業、小売業は1.5%増(同0.9%増)、医療、福祉は1.7%増(同0.8%増)となった。

賃金の推移(前年同月比) - 調査産業計・事業所規模5人以上 -

